

## 一般財団法人三重YMC A 2024年度事業報告書

【計画期間：2022年度～2024年度】

### § 1 意義

一般財団法人三重YMC Aは、キリスト教精神をもとにしつつ、宗教、国、政治、人種などの枠を超えて、課題にある青少年の痛みを受け止め、彼らが個人として、また社会人として課題に向き合い、解決していく力をもった人に成長することを願い、そのために必要な諸活動を営む社会教育団体である。

また、高齢化社会にあって、彼らが高齢者になっても、そのおかれた環境のなかでポジティブに生きることができることを願い、ウェルネスを諸活動に置く。

※「ウェルネス」とは、各人が、与えられたその状況の中で、自らの潜在的な可能性を最大限に求める生き方です。身体的健康、精神的健康、知的健康、情緒的健康及び社会的健康のそれぞれについて、これらがより良い状態へと統合され、より望ましい人となることを目標とするものです。

### 【年間聖句】

「ひとびとは東から西から、また南から北から来て、神の国で宴会の席に着く。」  
(ルカによる福音書13章29節)

### § 2 経営理念（ミッション・ステートメント）

三重YMC Aは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづき、次の使命を果たすための活動を展開します。

- 1 すべての人が、生涯をおして人間らしく成長することを願い、ボランティアの育成と共に学び合う教育に力を注ぎます。
- 2 お互いの人権を尊重し、共に生きる福祉社会と、すべての生命が守られる環境の実現に努めます。
- 3 歴史に学び、互いの文化を理解し、正義と平和のために、世界の人びとと共に歩みます。
- 4 常に何が正しいのかを、共に考え、話し合い、実践する社会の実現をめざします。

### § 3 事業活動の現況に関する事項

#### ● 事業の全般的状況

2024年度は、新しい職員体制のもと、模索しながらも円滑に保育を行うことができた。一方で、認可外保育施設としての事業を継続することについて検討を迫られた1年でもあった。それは、①入園の問合せに関して、問合せがあっても入園には結びつかなかったこと、3月には、他園へに転園する児童があったこと、③四日市市も少子化がすすんでおり、対象年齢の人口が年々減少していること、による。

財団法人においても、幼稚園が事業の中心であるため、財団の存在も検討を迫られている。2025年度は、当面は収支の安定を図りつつ、将来像を求めて生きたい。

1年間の特徴をまとめると次のようになります。 1

- (1) YMC A幼稚園では、年長2名が卒園し、延べ451名の卒園生を送り出した。
- (2) 1, 2歳児の園児が増加した。この傾向は続くものと考えられる。しかし、部屋の広さと、保育士1人あたりの園児数の制約があり、むやみに園児数を増やすことができない状況である。
- (3) 幼児、小学生体操教室は、チャンピオン・キッズに外部委託して行った。

- (4) 財団法人代表理兼園長の高齢化に伴う後継者確保がむつかしい状況になっている。理事の場合クリスチヤン条項が足かせとなっており、よい解決方法を模索する時期に来ている。
- (5) 夏、冬、春休みの特別プログラムは、充実した内容であった。
- (6) YMCA幼稚園の英語教育は、外国人講師が12月末退職し、1月から外部講師により実施している。野外活動は充実した内容であった。
- (7) TOEICテスト会場運営受託は、5回受託した。
- 皆さま方におかれましては、これまでと同様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ● 各事業の売上高

(単位：千円、%)

事業名	今期売上金額	構成比	前期売上金額	構成比
YMCA幼稚園事業	25,308	91.6	23,251	87.9
青少年育成事業	26	0.1	473	1.8
音楽等教室事業	648	2.3	341	1.3
その他事業	1,643	6.0	2,370	9.0
合計	27,625	-	26,438	-

※1. その他事業：音楽・クラフト教室、TOEIC試験会場運営受託

2. 幼児体操・幼児クラフトは、幼稚園事業に含まれている。

### § 4 資金の借入れその他資金調達の状況

2024年度は、資金不足が生じた月があったため、役員等からの借入によって対応した。

### § 5 設備投資の状況

なし

### § 6 対処すべき課題

- 理事、園長後継者を早急に獲得すること
- YMCA幼稚園の土地は、借地である（定期借地契約、令和6年1月契約、10年間）。早急に対応策をたてること。
- 個人会員、日本YMCA同盟からの借入れが大きく、返済の責務を負っている。返済は停滞したままであり、債務超過の原因であり、毎月の資金繰り圧迫の要因となっていること（§ 8 参照）

### § 7 設置施設の状況

名称	所在地	備考
本社、YMCA幼稚園	三重県四日市市阿倉川町3-17	土地は、借地
体育ホール	三重県四日市市阿倉川町6-11	建物は、借家

### § 8 主要借入先

借入先	金額
個人会員	59,347 千円
公益財団法人日本YMCA同盟	7,702 千円
合計	67,049 千円

### § 9 組合の運営組織の状況に関する重要な事項

当法人には、組合組織はなく、従業員代表を選んでいる。

## § 10 職員の状況

区分	人数	平均年齢	平均勤続年数	備考
総主事	0名	—	—	不在
役職員数	1名	—	16年	Y M C A 幼児園園長
職員数	15名	46.8歳	9年	
TOEIC試験官数	12名	—	—	5回、延べ51名
合計	28名	—	—	—

## § 11 役員に関する事項

役職	氏名
代表理事	塚本浩巳
理事	後藤友則
理事	阪本則子
監事	千賀直道
監事	平尾貴美子

## § 12 その他法人の状況に関する重要な事項

1 当法人は、1974(昭和49)年3月三重県四日市市に誕生、1983(昭和58)年4月財団法人三重キリスト教青年会として財団法人格を取得、2014(平成26)年4月一般財団法人三重Y M C Aに移行した。

2 2018年10月25日付けにて「認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書」(三重県知事 鈴木英敬)を受けた。これにより「認可外保育施設」として認定された。

「子福第04-240号 平成30年10月25日」

三重県こども・福祉部 少子化対策課保育サービス・幼保連携班

以上

## 【数値指標】

### § 1 各事業別クラス、参加者数等一覧

(2025年3月31日現在)

クラス名	対象	回数	人数	備考
<b>【YMCA幼児園事業】</b>				
マミー	1歳児の親子	月2回	0組	英語、体育、音楽
つくし	2歳児の親子	毎週水曜日	0組	英語、体育、音楽
めばえ	満3歳児	毎週木曜日	4名	
つぼみ	全日制1, 2歳児	週5日	8名	
のぞみ(年少)	3歳児	週5日	9名	
みのり(年中)	4歳児	週5日	10名	
ひかり(年長)	5歳児	週5日	2名	
アドバンスアウル他	年少～年長	週1回	18名	幼児英語クラス
アドバンスグラッズ	小学1・3年生	週1回	20名	小学生英語クラス
アウルエレメンタリー	小学1～6年生	週1回	4名	小学生英語クラス
算数・英語	中学1年生	週1回	0名	
中学生準備	小学6年生	週1回	3名	
中学生(英検対策)	中学1～3年生	週1回	4名	
プライベート		週1回	4名	
幼児体操教室	年少～年長	週1会	17名	年40会、外部委託
ピアノ	年少～小学生	週1回	6名	
クラフト	年少～小学生	月2回	12名	絵画、クラフト製作
運動あそび	1, 2歳児	夏、春	延べ43名	
運動あそび	年少～年長	夏、春	延べ57名	
英語で遊ぼう	年少～年長	夏、冬、春	延べ29名	
楽しいお料理	年少～年長	夏	7名	
クラフト	年少～小学生	夏、冬、春	延べ60名	